

令和8年度 シラバス

教 科	理科	科 目	物理	学 年	第 2 学年	学 科 類 型	普通科理系
単位数	2 単位	教科書	物理（数研出版）				
副教材	物理基礎・物理実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会物理部門） セミナー物理基礎＋物理（第一学習社）						

学習目標	物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成することを目標とします。 物理の学習を通して自然の事物・現象に関する基本的な原理・法則を系統的に理解し、自然を探究する能力と態度を身に付けさせ、他科目の学習成果とも関連させて、自然界の事物現象を分析的、総合的に考察する能力を育成します。
------	--

キャリア教育の視点	学習内容と産業や技術とのつながりが強いこともあるので、教科書や図説の内容だけではなく、書籍やインターネット等を活用して、データを収集したり、科学の原理、産業への応用などについて調べたりするなど、理系の進路に対応します。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1	4月 5月 6月 7月			
2	8月 9月 10月 11月 12月	＜11月まで必修科目として物理基礎＞ 第1編 力と運動 第1章 1 平面運動の速度・加速度 2 落体の運動		
3	1月 2月 3月	第2章 1 剛体にはたらく力 2 剛体にはたらく力の合力と重心 第3章 1 運動量と力積 2 運動量保存則 3 反発係数 第4章 1 等速円運動 2 慣性力 3 単振動 4 万有引力	直線運動を拡張した平面の運動における位置や変位、速度、速度の合成・分解、相対速度、加速度について理解し、円運動や単振動などの運動について学ぶとともに運動量と力積や力のモーメントやそのつり合いについて理解し、万有引力による運動について学びます。	学年末考査

学習の方法	授業で教科書の内容を確認し、実習や実験によって理解を深めてください。 問題演習を何度も行い、応用力を身に付けてください。
-------	---

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	--

備考	
----	--